



第63回静岡県あゆ友釣り競技選手権大会

7月10日(日)、静岡県鮎友釣り競技選手権大会が当漁協共催のもと、20漁協105名の選手が参加し、伊久美川で行われました。空梅雨で渇水気味だった水量も前日の雨で回復し、絶好のコンディションの中、3時間の釣果を競い合いました。

当漁協からは、各地区から選出された代表2チームが団体優勝を目指し臨みました。

個人では白幡選手の第5位を筆頭に、上田選手7位、間久選手9位と続き、大井川Bチームが団体3位となりました。開催漁協の決定から当日までの3か月弱という短い期間の中、無事盛会にて執り行うことができ、ご協力いただいた関係者の皆様に厚く御礼申し上げます。

主な成績は次のとおり。



大井川漁協
出場選手→



<団体の部>

総重量戦(g)

順位	漁協名	重量	尾数
1	興津川	5,745	67
2	気田川	3,987	60
3	大井川B	3,479	45
4	天竜川	2,084	39
5	都田川	1,697	34
6	大井川A	2,721	49
7	太田川	1,508	31

大会規定により、大井川Aは表彰(5位)から除く。

<大物賞> 柴山喜明(興津川) 160g

<個人の部>

総重量、尾数、高齢の順

順位	氏名(年齢)	漁協名	重量	尾数
1	深澤正吾(72)	興津川	1,982	22
2	小島康(59)	気田川	1,910	19
3	柴山喜明(67)	興津川	1,298	13
4	竹内錦一(54)	気田川	1,241	16
5	白幡光明(44)	大井川A	1,200	16
6	木下敦(59)	興津川	1,159	11
7	上田光雄(71)	大井川B	1,121	13
8	片桐洋純(39)	天竜川	1,108	15
9	間久信宏(47)	大井川B	990	12
10	柴田清次(37)	興津川	747	13



(下流端)長島、中島橋



やまゆり付近

豊漁を願う ～遡上と放流～

2年続く大井川下流部の不漁。大漁への願いを込め、増殖事業に取り組みました。

① 遡上

採捕数量530kgを予定した大井川河口の稚あゆ採捕は、5月7日に完了しました。

不漁であった昨年より遡上はあるようですが、多いとは言えないようです。



② 放流

今年の県種苗センター産の放流は雨に伴い、4月27日からの開始となりました。4月～5月雨量が例年より多く、大井川河口発電所下流の鮎放流は解禁後となりました。



2016年鮎放流

計 1,800kg

月日	種別 (平均重量)	数量	場所
4/5、23、5/7	河口産 (3g)	300kg	伊久美川 (小川～川口)
4/27	人工ふ化 (7.5g)	200kg	大井川 (鍋島2か所)
		100kg	伊久美川 (川口、長島)
5/27	人工ふ化 (30g)	300kg	伊久美川 (川口～二俣) 計17か所
5/30	人工ふ化 (20g)	300kg	大井川 (鍋島2か所)
6/8	海産 (30g)	300kg	大井川 (北中前、神座水路橋) 270kg 大代川 (宮の上) 30kg
7/1	人工ふ化 (50g)	200kg	大井川 (鍋島4か所)
		100kg	伊久美川 (長島～小川) 計18か所

本年は大井川970kg、伊久美川800kg、大代川30kg、計1,800kgを放流しました。このほかに、県大会用として内漁連より成魚300kgの提供を受け、伊久美川に放流しています。

中河内川下流部の 全面魚道



興津川水系の 魚道視察



興津川「鮎の石松」

4月14日、昨年完成した興津川支流中河内川の全面魚道視察のため、興津川漁協を訪問しました。柿澤組合長と大岡事務局長に出迎えられ、各種魚道や興津川河口付近の近年の形状変化、河川の問題点や取り組みなど様々なお話を聞くことができました。

左は、中河内川合流点より上流約200mに設置された全面魚道です。(撮影時は水量多め)。この魚道により7mの高低差が解消され魚類が遡上しやすくなりました。上流部の石質が柔らかいため、流石が少なくこの工法が用いられています。

和田島えん堤 (カスケード方式)



右の「和田島頭首工」(カスケード全面魚道工+ハイブリット魚道工)は、平成9年に興津川に完成した全国初のカスケード式頭首工です。この魚道は全国的にも高く評価され、その後もいくつかの魚道が興津川水系に設けられています。今後も各内水面漁協と情報交換を重ね、組合事業に活かしていきたいと思えます。

カスケード方式の魚道はポケットが作られ、出水時に堆積土砂が排出される構造になっている。自然の力を利用しているため劣化も小さく、土砂排出などのメンテナンスも少なくすむ。

大井川最大の鮎の関所、 塩郷えん堤



川根本町下泉地先



組合からのお知らせ

投網・追いだもの解禁日に
ご注意ください。

当組合管理区域 9月 1日解禁
(島田市丹原までの本流、伊久美川)

島田市丹原から上流 9月15日解禁
(家山川、笹間川 9月15日解禁です)

追いだも (6,000 円)・投網 (25,000 円) を希望する組合員がいる場合は 8月10日までに地区長へ申し出てください。当組合分の統数は各 30 統と漁業権で定められています。申込状況によってはご希望に添えない場合がありますのでご了承ください。

地区・関係会社対抗競技大会

静岡県あゆ友釣競技選手権大会開催に伴い、開催時期を見合わせていた本大会を9月3日に大井川で開催します。

<開催日> 9月3日(土) 小雨決行
<会場> 大井川(本部:北中学校前付近)
新東名橋 ~ 大井川橋(旧国一)
川況により、変更する場合があります。

<競技内容>
1 チーム5名の団体および個人戦
(総重量、尾数、高年齢の順による。)

2017年 漁協カレンダー



イラストは2013年のものです。

好評のため、来年用カレンダー(県内河川釣り場・風景の写真)をご希望の方にご用意します。希望される方は、8月末日までに組合へ部数をお申し出ください。
7・8月には県大会の写真が入る予定です。

A2判(7枚綴り) 1本400円
表紙は黒田とみじさんの鮎のイラストです。



主な業務 (H28. 1月~7月)

- 1 / 5 仕事始め
- 2 6 監事会 (27年度下期、決算監査)
- 2 / 3 花火打上従事者講習会 (藤枝市民センター)
- 4 組合員資格審査委員会 ・ 漁業日数
- 5 第1回役員会 ・ 総代会提出議案の審議ほか
- 〃 河口産稚鮎需給調整会議 (天竜川漁協)
- 1 8 中部電力から説明 ・ 笹間ダム修繕工事
- 3 / 1 あまご解禁及び役員監視
- 8 大井川河口鳥獣保護区説明会 (大井川公民館)
- 1 0 河口産稚あゆ採捕開始 (~5/10)
- 1 2 通常総代会 (地域交流センター歩歩路)
- 1 6 大井川砂利対策協議会へ出席 (島田土木)
- 2 2 焼津水産高校に河口産稚あゆ 30 k g 配給
- 2 3 第61回県内水面漁連通常総会へ出席
- 2 8 中央新幹線環境保全連絡会 (県庁)
- 2 9 国交省から工事説明 (H27年度補正予算)
- 4 / 5 第1回放流 (伊久美川、河口産 100 k g)
- 11, 12 伊久美川カワウ対策 (二俣~河口、テープ張り)
- 1 4 興津川魚道の視察調査 (興津川漁協)
- 1 8 カワウモニタリング調査① (3地点、6名)
- 〃 第2回役員会 ・ 第63回県友釣大会について
- 〃 企画運営部会 ・ 開催日、会場等について
- 1 9 県内一斉カワウ追い払い (4/19~4/28、10日間)
- 〃 有害駆除開始 (4/19~5/31)
- 2 2 県大会会場調査
- 〃 島田土木から工事説明 (H27年度補正予算)
- 2 6 伊久美川魚道土砂排除 (手作業)
- 〃 志太榛原農林事務所から工事説明 (H28年度)
- 2 7 河川工事業者等の放流立会い
- 2 8 漁協役員、監視員研修会 (労政会館)
- 2 9 カワウモニタリング調査② (3地点、6名)
- 3 0 全国一斉カワウ追い払い・カワウパトロール
- 5 / 4 伊久美二俣地区、崩落により県道通行止め
- 7 大井川河口稚あゆ採捕終了 (530 k g)
- 1 4 カワウパトロール
- 1 6 組合員資格審査委員会 (新加入者の審査)
- 〃 第3回役員会・組合員資格審査、釣り振興大会
- 1 7 大井川流域委員会 (島田土木事務所)
- 2 3 解禁前監視員研修 (現場)
- 〃 関係会社へ挨拶まわり
- 2 6 警察署へ取締協力依頼
- 〃 島田土木と打合せ ・ 県大会について
- 2 7 伊久美小児童の体験放流
- 6 / 1 大井川鮎解禁
- 〃 川口地先違法漁業役員監視開始 (土・日)
- 2 県内漁連と打合せ ・ 県大会について
- 7 玉石還元作業 (高熊地先、トラック 72 台分)
- 7, 8 伊久美川防鳥テープ撤去
- 9 県大会用品受け取り (県種苗センターへ)
- 1 0 伊久美川鮎解禁
- 1 6 大井川漁場調査 (内水面と共同)
- 2 2 うなぎ放流 (30 kg、1,000 尾)
- 2 8 大井川漁場管理運営協議会
- 2 9 県大会会場決定
- 〃 あまご放流 (6,000 尾)
- 7 / 1 県大会選手打合せ会
- 6 県大会準備作業 (内水面と共同)
- 7 部会打合せ ・ 県大会について
- 9 県大会会場準備、組合長会議
- 1 0 県あゆ友釣競技選手権大会 (伊久美川)
- 2 2 島田土木から工事説明 (平成 28 年度)
- 2 9 大井川漁場管理運営委員会 ・ 大平特設釣場